

2012年10月17日(水)～10月19日(金)に東京ビッグサイトで開催された
IFFT/ インテリアライフスタイル リビングに行ってきました。

■IFFT/interiorlifestyle living 2012 HIGH-END HIGH-DESIGN WORLDWIDE



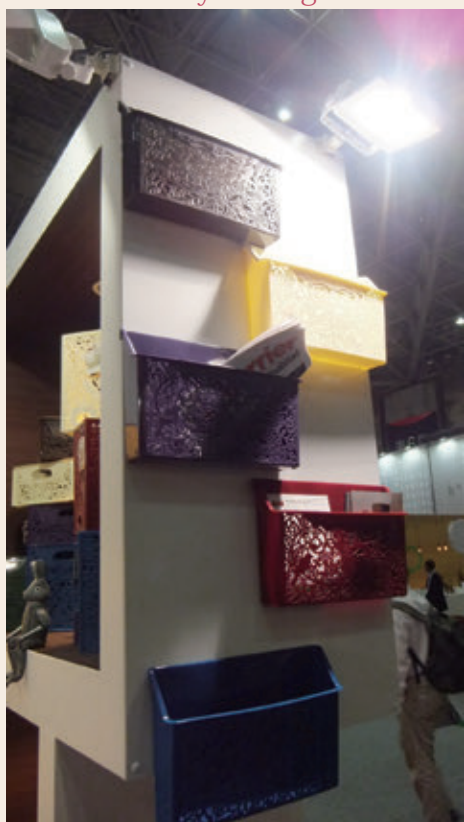
今回のインテリアライフスタイルリビング展は、技術力の素晴らしいソファやテーブル、イスなどの木製大型家具とインテリアに彩りを与える雑貨が並ぶブースが多い印象でした。残念ながら場内撮影禁止のため、言葉で語らせていただきます。。

木目の色はチェリーのような赤みの家具が目につきましたが、定番のウォールナットもたくさんありました。

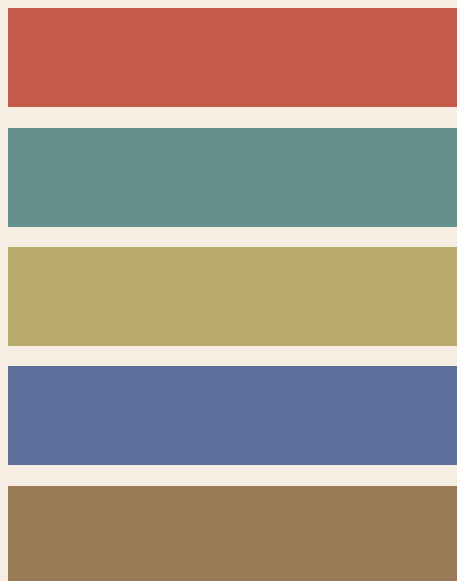
以前聞いたことがあるのですが、チェリーは日本人に人気があるので、日本向けにチェリーで家具を作っている海外メーカーがあるそうです。ソファはレザーよりもやわらかい印象の布製が多く、張地をクリーニングしたり、取り替えたりできるものがとても多く展示されていて、良いものを大事に長く使うという意識が強くなってきているなと感じました。

雑貨のカラフル展開は数年前から継続していますが、今年の色は何と言ってもダルトーンです。ダルトーンのダルは「Dull」で「鈍い」という意味です。少し黒を混ぜて濁らすことで、主張し過ぎない、落ち着いた中にも華やかさもある、絶妙なニュアンスの色です。暖かみもあり、これからの季節にぴったりの色ですね。

■interiorlifestyle living 2012 YAMADAKAGAKU CO.,LTD



■Dull Tone Color



※撮影の許可を頂いております。

ダルトーンの色は壁のアクセントカラーにも向いています。
部屋の一部分だけでも塗ると空間が引き締まり、よりお洒落な部屋になります。
下の画像は、真っ白な壁の一部にダルトーンのブルーグリーンをペイントしたイメージです。

■ INTERIOR × PAINT



白い家具や照明、雑貨が映えて、よりお洒落な空間になったと思いませんか？
ダークブラウンの床の色と白い壁の中間の明度のため、全体のコントラストをやわらげて、よりまとまりのある空間になっています。

ペイントなので、失敗したと思ったり飽きたら色を変えることもできるので大胆な色でも挑戦してみてください！

今回の展示でも有機的なものをモチーフにした家具や雑貨がたくさん見られました。今までと少し違うのは、木や葉、動物、花をよりリアルに表現していることでしょうか。リアルな表現の中にも遊び心や癒しが感じられるものが多かったように感じます。

日本ではまだあまり見ることはできませんが、壁をアーティスティックにペイントする会社も出展していました。海外ではこうしたペイント方法をよく見ることができます。インテリア雑誌に海外の家が載っていたら壁に注目してください。

今回の展示会を見て思ったことは、【ほっこり】【丸み】【暖かみ】【落ち着き】といった、見ていて安心できるものがライフスタイルに求められているのだなと実感しました。

画一的なものではなく、それぞれに形があり、素材感があり、長く大切にしたいと思えるものたちに囲まれて生活したいという思いがあふれていました。

インテリアライフスタイルリビング展のあとに、表参道のインテリアショップを見に行きました。街を歩いていると、ウィンドウディスプレイにもダルトーンが多く使われていました。インテリアとファッションのトレンドカラー傾向が同じだなと感じました。

